

補論 3

「地域診断と展望」高等研究認証(AgroParis Tech CEA)

須田 文明

目次

- (1) 高等研究認証 CEA 「地域診断と展望」：背景，対象，研修費用，評価と認証
- (2) プログラム
 - 1) モジュール 1：地域的ダイナミズムを理解
 - 2) モジュール 2：地域のアクターと地方ガバナンスの争点の同定
 - 3) モジュール 3：地域の観察，分析，診断，コミュニケーション
 - 4) モジュール 4：実践：地域の展望的診断の構築

(1) 高等研究認証 CEA「地域診断と展望」：背景，対象，研修費用，評価と認証

以下ではグランゼコールの AgroParis Tech CEA 認証について紹介しておこう。

高等研究認証 CEA「地域診断と展望」：持続的ガバナンスのための人文科学的貢献

AgroParis Tech の高等研究認証 CEA は，研修で獲得されたコンピテンスと知識を保証する。CEA「地域診断と展望」は，公的，及び民間部門の管理職を対象としている。彼らは，地域の経済的，社会的，環境的ダイナミズムと，マルチ・アクター・ガバナンスの問題をより良く理解しようとしている。これは彼らに対して，持続的振興の問題を統合した地域展望診断を実施するための手法を与えてくれる。

背景

一方での地域化された公共政策の根底的な転換という背景において，また他方では持続的振興の問題を考慮する必要性に統合されて，このプログラムは展望的次元を統合した地域診断を実施するための知識と手法を与える。

目標とされるコンピテンス

- ・ 地域アクターと，地域ガバナンスの争点を同定
- ・ 地域的公共活動と，その結果について考察
- ・ 地域ダイナミズムを理解し，分析
- ・ 地域的インテリジェンスの機能を開発すること。すなわち観測，問題点の分析

対象

この研修は，国及び地方公共団体，公共機関，都市開発機構，自然公園，企業，調査会社などのエンジニアおよび管理職に向けられている。

研修費用

3,500 ユーロ

評価

認証は以下に基づいて付与される

- ・ グループによりなされる地域診断作業の評価（レポート取りまとめと口頭でのプレゼンテーション）
- ・ 研修成果に係る個人的な口頭での評価，エージェントの職業的実践におけるその活用についての口頭での評価

実践的情報

- ・ 研修場所：クレルモンフェラン AgroParis Tech センター

- ・以下のインターネット上で登録書類がダウンロード可能
www.agroparistech-executive.fr/CEA_Diagnostic_territorial.html

(2) プログラム

CEA のプログラムは 4 日間の 4 つのモジュールと 1 日の評価からなる。

第 1 表 プログラム

モジュール	期間	暫定的期間
モジュール 1	4 日	2012 年 9 月 10-14 日
モジュール 2	4	同年 10 月 8-12 日
モジュール 3	4	11 月 5-9 日
モジュール 4	4	12 月 10-14 日
評価	1	12 月 17-18 日

1) モジュール 1：地域的ダイナミズムを理解

教育目標

- ・「地域」についての共通の文化とボキャブラリーを構築
- ・地域の経済的，人口的，社会的進化のダイナミズムを理解
- ・環境グルネル法と関連した地域環境争点を同定すること

2) モジュール 2：地域のアクターと地方ガバナンスの争点の同定

教育目標

- ・地域の主要なアクターを同定し，マルチアクター，マルチレベルのガバナンスの複雑さを同定すること
- ・地域での公共活動の特徴を知ること
- ・地方公共団体の改革，公共政策一般見直し RGPP，とりわけ地域における国家の位置づけ（裁量，規制，アニメーターとしての）を通じて，現行の地域的公共政策活動の再編について考察する。
- ・地域レベルの間での相互作用を考察。すなわち欧州，国，州，県，市町村共同体，その他のプロジェクトの地域

3) モジュール 3：地域の視察，分析，診断，コミュニケーション

教育目標

- ・地域の診断活動の様々な段階を構想することを学ぶ。このことは，分析された状況の空間的次元のより良い考慮を保証する。

- ・地域情報システム GIS の基礎を提供することを学ぶこと。すなわち目標の定義，考慮すべき実態と関係の選択，データの組織化，様々な情報源の知識
- ・地域の分析，そのダイナミズムの理解，その争点の表現，これらを豊富にするために，パートナーたち及びプロジェクト担い手の知識をいかに動員するかを学ぶこと。
- ・展望活動を学ぶこと

4) モジュール 4：実践：地域の展望的診断の構築

このモジュールは実践状況を通じて研修期間で得られた知識全体を動員することになる。目標は，地域の展望的診断（持続的発展を統合した）を実施することである。この作業のとりまとめは調査対象地域のプロたちの前で提示されることになる。

教育目標

- ・地域診断の実施において，冷めたデータと熱いデータとを結合させることを学ぶこと
- ・地域の展望的診断を構築するための研修において学んだ手法を動員すること。